

グリーン・プロセス/グリーン・ファシリティ

すべての製造拠点を「環境配慮型工場」に変えるために、2つの新しい取り組みがスタートしました。

グリーンファクトリー 環境に配慮した生産活動を推進する手段として、新たに「グリーン・プロセス活動」と「グリーン・ファシリティ活動」に取り組んでいます。「グリーン・プロセス活動」はグループ全体の活動として展開、「グリーン・ファシリティ活動」は電子デバイス部門をはじめ順次展開していきます。

グリーン・プロセス活動とは？

製品の製造プロセスをライン単位で見直し、製造工程から資材の投入、化学物質の使用、エネルギーの使用などの環境負荷をできる限り取り除く、コストダウン活動とリンクした継続的な取り組みです。2003年度は、三重工場の電子デバイス製造拠点を中心に活動を推進しました。この実績とノウハウをもとに、2004年度より富士通グループの製造拠点へ展開します。

活動内容・評価

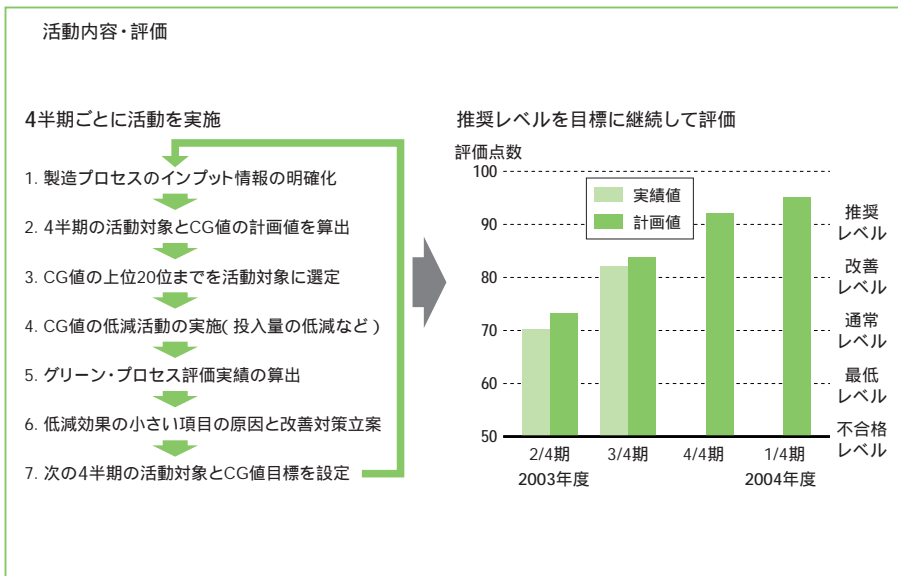
グリーン・プロセス活動は4半期(3カ月)ごとに低減活動を行う対象を明確にした上で、目標値または計画値を設定して活動を実施します。目標や計画を満たさなかった項目は、その原因を徹底的に分析して次回の活動に必ず反映します。この活動を繰り返し継続します。

評価項目

評価項目は製造プロセスの形態にあわせて設定します。評価内容はコスト・グリーン(CG)指標の低減を重視した構成です。

評価手法

コスト・グリーン(CG)指標をもとに目標値または計画値を設定します。その上で、コストダウンと環境負荷の両面から施策アイテムの抽出とその実行を行います。



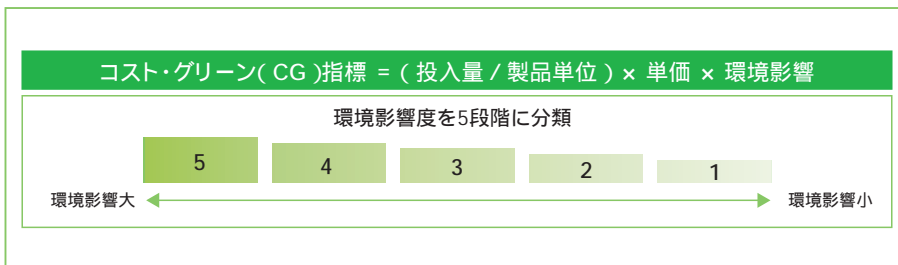
三重工場での実績

グリーン・プロセス活動により、あるデバイス製品では次の成果があげられました。
 単位製品あたりの化学物質投入量を02年4/4期に対して03年4/4期は41.0%削減。
 単位製品あたりの化学物質投入金額を02年4/4期に対して03年4/4期は27.2%削減。

コスト・グリーン(CG)指標の開発

グリーン・プロセス活動の評価にあたっては、コストと環境負荷の両面から対策効果が大きい資材を抽出できる「コスト・グリーン(CG)指標」という独自に開発した指標を用

いています。これは、薬品・ガス・部品などの資材ごとに、単価、単位製品あたりの使用量、内部で決めた環境影響度の3つの数値をかけ算で算出するものです。



グリーン・ファシリティ活動とは？

施設管理部門において、「定期的な目標設定～省エネルギー・CO₂削減を中心とした環境負荷削減活動～実績評価～さらなる向上」という改善プロセスを継続的に実施していくものです。製造部門のグリーン・プロセス活動にない、施設管理部門でも従来か

らの活動を強化するための取り組みとしてスタートしました。2003年度はトライアルを行い、2004年度から電子デバイス部門をはじめ各部門の施設管理に順次展開していきます。